

## 絆づくりカフェ 2015 事業報告書

### 1. ねらい

江南市の子育てグループが複数集まり協働事業を展開している現状を受け、より多くの子育て支援活動に興味のある方々にお集まりいただき、江南市の子育て環境について、あらためて見つめ直し現状を把握し、今後の活動に活かしていける様なことを考えたり、より大規模や継続的な協働事業を生み出す機会を作っていきたい。

### 2. 実施内容

#### ◆絆づくりカフェ 2015 (参加者数：10名+スタッフ：5名)

日 程 10月7日(水) 13時～15時

場 所 市民文化会館 第1会議室

対 象 子育てについて興味関心のある方、  
子育てについて話したり聴いたりしてみたい方

参加費 無料

#### 内 容

12:30 受付開始(参加者にはネームプレートを作ってもらおう)

13:00 あいさつ 主旨説明

13:10 自己紹介(1人1分程)

13:30 各テーブルごとにディスカッション

方法：カード集類法(意見は全て付箋に書く：1枚1項目)

「現状」と「理想」を分けて意見を整理する。

14:10 各テーブルの結果を発表。

14:30 それぞれの結果を見ながら、全体での意見交換。

次の活動やテーマの整理や絞り込みをして、今後の方向性を決める。

15:00 アンケートに記入してもらって、解散

片付け

### 2. 成果と課題

#### (1) 成果

※ディスカッションの結果は、別紙参照。

今までもいろんなテーマで意見交換会を行ってきたが、今回は、必ず次の行動などに「つなげる」ことを目的として、子育て支援の活動をしている方々を主に集まって頂き、子育てしやすい「まち」とは？について意見交換を楽しんでもらいました。

参加者10名とスタッフ5名が2グループに分かれて意見交換をしました。とても活発に意見がたくさん出て、みんなが協力し合って意見をまとめていました。別紙の図は、2グループが

出し合った意見をまとめた図です。

両グループの意見をまとめた結果を発表しあった後、今すぐ行政の担当部署に伝えたいことをピックアップしてまとめたり、各々が特に気になったことを話したりして、参加者同士の親密さはとても深まったようでした。

あと、今回のまとめから、すぐにでも対処が必要と思われたことは、すでに市の担当課に伝えましたし、他にも関係の担当に文書にして今回の結果を伝えました。こういったことも、成果の一つだと考えています。

## (2) 課題

参加者から、このような機会を今後も作り続けて欲しいというご意見を多くいただきました。

今後どのようにして続けていくかは、これからの検討課題ですが、継続が目的のひとつなので、すぐにでも次を予定していきたいと考えています。

## 公園

- ・子どもたちが、遊びたいと思う公園がほしい
- ・プレイパークがほしい
- ・公園が少ない  
(子どもがあまり外で遊んでいない)
- ・公園を増やしてほしい
- ・子どもたちが遊べる広場

## 保育

- ・一時保育の施設増やしてほしい
- ・日祝の子供の預かり
- ・保育園で(園児)はだしを取り入れてほしい
- ・保育の質アップ  
(未満児の受け入れ場の必要)
- ・保育料が高すぎる
- ・自分の子供の時に、兄弟を同じ保育園に入れられず、苦労した(途中入園)
- ・子供用品のリサイクル
- ・幼稚園、学校等の制服等のリサイクルシステム
- ・保育園などに保護者の会などがあるとレベルも上がるのでは？(交流の場)
- ・生涯学習の機会増やしてほしい
- ・子育て中の家事手伝いサービス
- ・お母さんたちの交流、居場所づくり

## 出産

- ・出産時の(産院選びの)情報が少ない
- ・生むメリットがない  
(環境が整っていない)
- ・不妊の苦しさ、治療の大変さ  
不妊の方は孤立してしまっている  
(保健センターでも会を開いてと…)

## 相談

- ・虐待の早期発見  
(DV, ネグレクト、育児放棄 etc)
- ・障害のある子を持つ親の相談窓口
- ・障害のある子への対応
- ・保健センターの検診時に気軽に相談できる場を設ける
- ・子育てで不安があったときに、江南では気軽に相談できるところがあるのだろうか
- ・性(生)教育を子どもに伝えたい

## 社会情勢

- ・情報の多さ
- ・社会の変化についていけない
- ・メディアに踊らされている？

## 支援者問題

- ・子育て中の方のニーズが？
- ・後継者がいないこと  
(サークル、ここたん etc)
- ・ママは仕事が多すぎる  
パパの手助けの必要性

## 学童

- ・学童保育の収容人数が多すぎる
- ・学校の施設の一部に学童保育がある所があるが、収容人数が多く、指導員が少ない
- ・自転車の無灯
- ・通学路の安全
- ・子どもに優しい道づくり  
(車道分離等)
- ・歩道でベビーカーはひけない

## 図書館

- ・塩尻市の図書館の中に、子育てセンターがあり絵本を読む人(お母さん)が気軽に相談できる場所があった。江南にもそういう場所がほしい
- ・コミュニティの場として憩える場としての図書館がほしい。子育てママを含むすべての人にとって
- ・バリアフリー(子どもと行きやすい)図書館
- ・図書館の絵本の状態が良くない